

著 書

1. 運動イメージ・運動観察の脊髄神経機能とリハビリテーションへの応用（共著）編集工房ソシエタス, 2018.
2. 理学療法学テキスト 神経障害理学療法学I 脳血管障害、頭部外傷、背髄損傷（分担）メジカルビュー社, 2019.
3. 脳卒中運動学（共著）運動と医学の出版社, 2021.
4. 理学療法評価を学ぶ トップダウン評価の神髄に迫るー（共著）編集工房ソシエタス, 2022.

論 文

1. 前田剛伸・他: 単純な手指の対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響について. 理学療法科学 28: 303-306, 2013.
2. 前田剛伸・他: 複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響. 臨床神経生理学 43: 10-13, 2015.
3. 前田剛伸: 手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響ーイメージ想起能力を用いた検討ー. 関西医療大学大学院修士論文集 2013: 139-168, 2014.
4. 前田剛伸・他: 複雑な運動のイメージと想起能力が脊髄神経機能に及ぼす影響. 関西理学 17: 59-63, 2017.

学会発表

1. 右足部のアラインメントが改善したことで独歩の耐久性向上を認めた両人工膝関節全置換術後の一症例 兵庫県理学療法士会神戸西ブロック (2012, 兵庫)
2. 単純な手指の対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響について 第 52 回近畿理学療法学術大会 (2012, 奈良)
3. 複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響について 第 48 回日本理学療法学術大会 (2013, 愛知)
4. 手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響ーイメージ明瞭性の評価を用いた検討ー 第 49 回日本理学療法学術大会 (2014, 神奈川)
5. 複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響ーイメージ統御可能性の違いによる検討ー 第 46 回日本臨床神経生理学会学術大会 (2016, 福島)
6. 個々の指の運動イメージが母指球筋に対応する脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 第 54 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2017, 岡山)
7. 母指と各指との対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会 (2017, 神奈川)
8. 運動範囲の異なる母指の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 第 48 回

日本臨床神経生理学会学術大会（2018, 東京）

9. Influence of Motor Imagery of the Thumb with Different Ranges of Motion on Excitability of the Spinal Motor Neural Function. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress (KOBE, JAPAN, 2019)
10. 母指の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響—関節の違いによる検討— 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会（2020, 京都）
11. 母指の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 第 50 回日本臨床神経生理学会学術大会（2020, 京都）
12. 手指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響-イメージ統御可能性との関連について- 第 60 回近畿理学療法学術大会（2021, 大阪）
13. 母指の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響 -口頭指示の違いによる検討- 第 51 回日本臨床神経生理学会学術大会（2021, 宮城）